

体験を通じて…

発達障害のある子どもが感じていることを体験し、その大変さ、生きづらさを理解していただきました。

地域に根差して…

どのように本人に寄り添い、その生きづらさに対してどんな支援をしているのかを紹介しました。

自発性を尊重して…

げんきではどんな障害があってもその子の人格と自発性を尊重した支援を目指しています。その実践について紹介しました。

# 『げんき』ってどんなところ？

地域の皆さんに療育や発達への理解を深めていただき、また『げんき』の活動をより広く皆さんに知っていただくために一日限定の施設開放日「オープン・デイ」を企画しました。第1回を9月10日(土曜日)に開催し、100名余の多くの方にご来所いただきました。当日の様子を紙面にてご紹介します。来年2月18日(土曜日)にも同内容でオープン・デイを予定しています。

『げんき』  
を見に  
きませんか？

当日の催し

◆紹介コーナー

げんきについて 療育(プログラム、教材等)について 作業療法について 発達について など

◆工作・ゲームコーナー

◆ミニ相談会

## 『相談』コーナーでは

世田谷区在住の発達障害のある方、またはその疑いのある方、そのご家族などからのご相談をお受けしました！

参加者の声

ミニ相談会で話をきいてもらえ、親の立場でうれいと思えました。こういうセンターの存在はすごく大切だと思いました。

参加者の声

鏡の迷路は衝撃!でした。目と手の協応が難しい方を理解する新しい体験でした。

参加者の声

鏡を見ながら、迷路をするのが思った以上に難しく、子ども達の気持ちが少し分かった気がしました。

横に立てかけた鏡を見ながら迷路プリントに挑戦。

## 『発達』コーナーでは

当事者が感じられる様々な困難さを理解し、実際に体験してもらおうブースも設けました。

刺激についての紹介も。

# 世田谷区発達障害相談・療育センター オープン・デイ開催 9月10日(土)『げんき』一日限定の施設開放

いろいろな特性をもったお子さんがいらっしゃることを理解していただきました

## 『作業療法』コーナーでは

道具の紹介のほか、実際体験や、感覚に過敏性のある方への支援の実際などを、短時間の講演でご紹介しました。

参加者の声

子供が普段、どんなことで困っているのかがよくわかった。

参加者の声

OTの方の話が支援の際の参考になりました。

げんきの作業療法(OT)では、子どもの日常生活動作(食事、整容、更衣など)や、活動参加(遊び、学習、作業、仕事、余暇活動)を感覚や運動面などから分析し、子ども自身の主体的な活動を支援します。また関わり方の助言や、便利な道具(姿勢保持具など椅子の工夫、自助具など)の紹介をご家庭に行っています。

区 担当者から  
普段は子どもたちに療育を行っているためになかなかげんきの中をご覧いただけませんが、このような機会を通して多くの方々にげんきを知っていただくことができました。今後も気軽に相談にお願いいただけるような施設をめざし、このような機会を設けたいと思います。

教材についての「使い方や効果」についての質問から、「こんな状況、どうすれば？」という支援や対応に関してまで、たくさんの質問を頂きました。

参加者の声

これまでも相談しようかどうか迷っていたのですが、この機会に実現しました。

20分という短い時間ではありましたが、日々の子育て中での「こんな時はどう対応すれば？」というご相談から、お子さんの発達についての不安や疑問など…ご相談内容は様々でした。

参加者の声

実際に手に触れて体験できるコーナーは、特にわかりやすくてよかったです。

## 『療育』コーナーでは

『げんき』での支援の考え方、療育のねらいとその内容、課題等について紹介しました。また教材の実際体験もしていただきました。

## 『工作』コーナーでは コマ作りを体験

シールをベタベタ貼る事を楽しむ就園前のお子さん、いかに長く回すかを考える小学生、回した時の模様の綺麗さを目指す中学生と、多くの方楽しんでいただきました。

参加者の声

コマ作りの手順書も先生に確認するタイミングが書いてありよかったです。

参加者の声

はさみやコンパス等、実際に物を見せていただき、分かりやすかったです。

便利で子ども達使いやすい、発達を支援する道具の紹介をしました。